

つながる昔っこ (昔話) ⑦

# 豆コの話

(津軽弁Ver.)



国土交通省 東北地方整備局  
岩木川ダム統合管理事務所  
イラスト：やざわ ゆな  
カラーリング：つしま けいこ

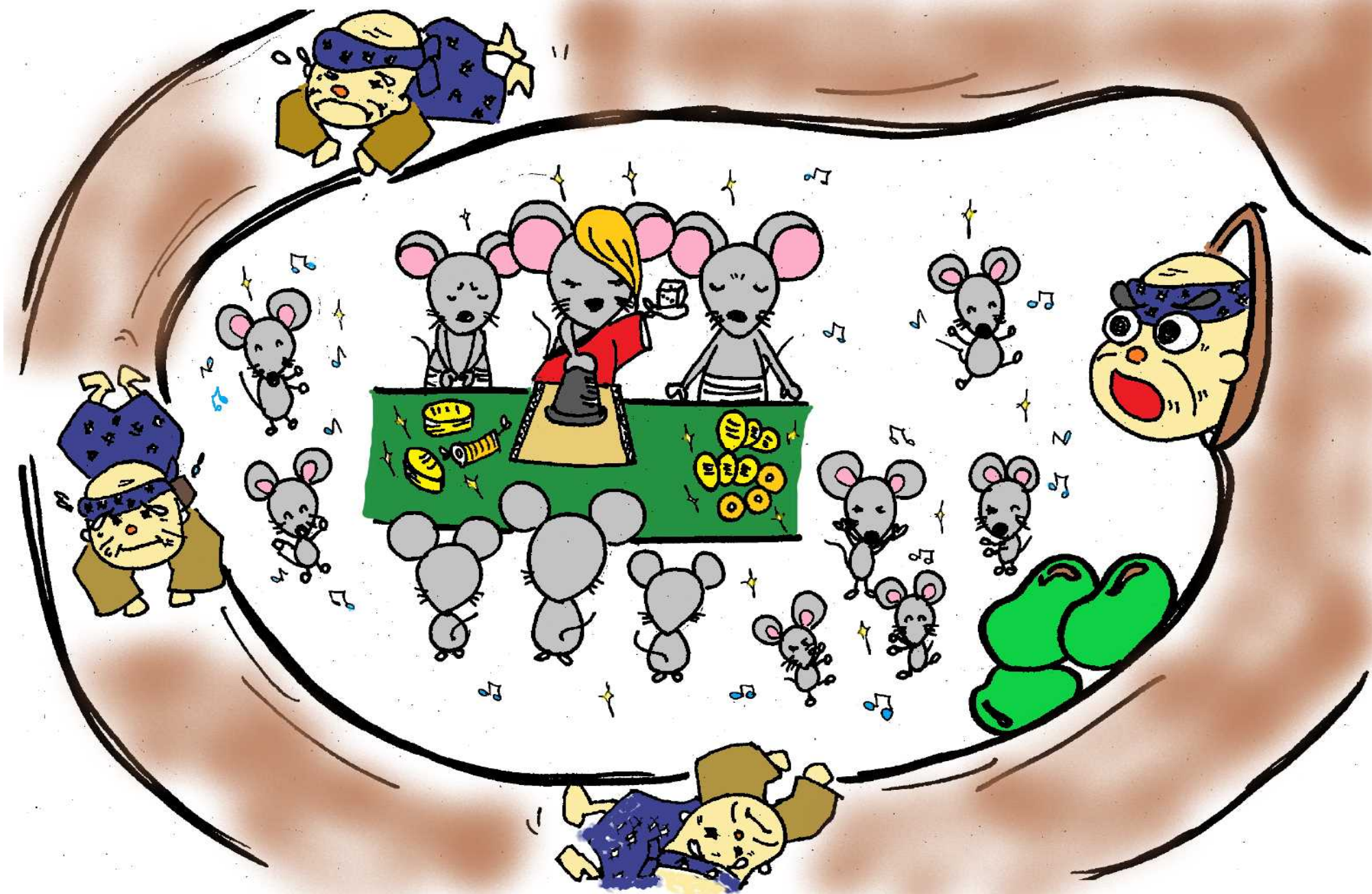
むがしむがし、じっちゃん（おじいさん）ど ばっちゃん（おばあさん）ど  
いであつたど（いました）。土間で豆コの脱穀 ば（を）してあつたど。





したっきゃ（すると）、豆コころころって転がったず。ふらうど（拾おうと）思たきや、ネズミの穴さ入ってまったのせ。

じっちゃ、豆コ惜しふてしかだねどごで（仕方がないので）、ネズミの穴コ掘って進んでいったんだど。



したっきや、ネズミだち（達）うんじゃらどいだど。何してらば（何をしているのだろう）ど  
思たっきや、大判小判でばぐち打ってあつたど（博打をしていました）。『さあさ、あすのばげ  
（晩）までやるべし』ってネズミだちしゃべってあつたど（話していました）。じっचाや、それ  
聞いて（あすのばげ、まだこごさ来るじゃ）って思つたんだど。



次のし(日)、まだネズミの穴コ掘て行つたつきや、まだばぐちうつてあつた。『二十歳になつても三十歳になつても、にやおーんの声だば聞きてぐねな(聞きたくないな)』つてしゃべながら(いいながら)やつてらんだど。

じつちや、しめだもんだど思つて、『にやおーん』つてネゴ(猫)の鳴ぎ真似したのせ。したつきや『ん?ネゴきたべが(来たかな)』つてして。だはんで、もう1回『にやおーん』つてしゃべたんずや。したつきや、ネズミだぢ、その じえんこ(お金)置いたまま、『ネゴきた、ネゴきた』つて逃げでまつたどや。

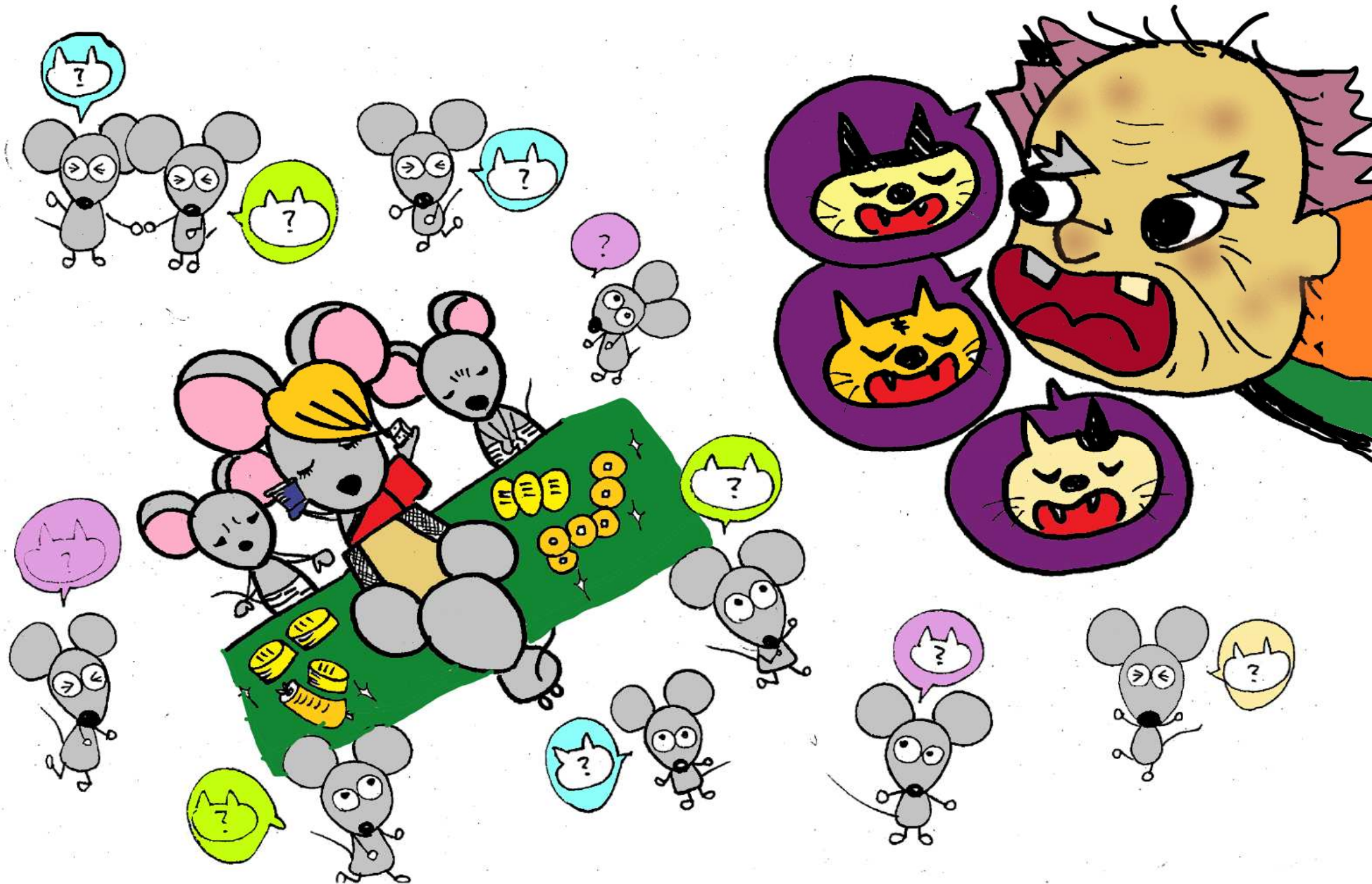
して、じっちゃん その じえんことば (を) がっぱど (いっぱい) ふぐろさ (袋に) へで (入れて) 行ったど。そのごととば、ばっちゃんさしかふえで (教えて) で、『わは (我は)、こやったきや (こうしたら)、こうなった』ってしてらのや。  
したっきや、隣のほいどだ (欲張りな) じさま (おじいさん) 来て、その話聞いであつたど。



『おめだの (あなた達の) えで (家で)、なして (どうして) すたらだに (そんなに) じえんこ 持ってらず (あるの)?』って聞がいたはんで、じっちゃんはしょうじぎに (正直に) みなしかへで やりました (全部教えてあげました)。



したっきや、ほいどじっこ（欲張り爺さん）、えさ戻って（帰って）ばさま（おばあさん）さそれとしかふえだず。『じさま、じさま、おめも（あなたも）そごさ行ってこいへんが』ってしゃべったど。『せば、行ってくるでや（行ってくるか）』ってして、わざとに豆コ1つ、無理くり穴さへで、入っていたんだど。

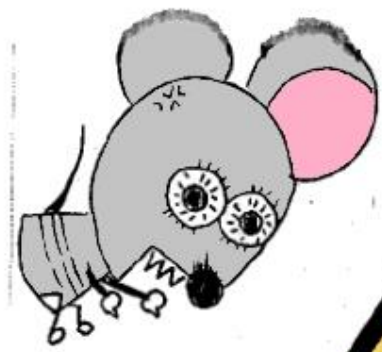


したっきや、案の定まだ居であってせ。じさま、そのじえんこ 欲しいどごでネゴの真似したど。  
したばって、最初のじっちやのど違うふて、そのネゴの真似おがしんだどせ。今度まだ2回鳴い  
でみだど。したっきや・・・





『あいった（あっ）、ネゴでねばな（猫じゃない）』ってネズミだちみんなで、じさまつとば  
かっちゃいだり（ひっかいたり）、かちたり（噛みついたり）して、じさま血だらけ さなって  
（になって）、あがでろ（真っ赤）さなって、穴がら出はってきたずじゃ。  
だはんでよ、あんまり ほしいど根性（欲張りな心）だすもんでねっきやよ〜。



じっぱれ

